

お店経営のために ● 地球のために

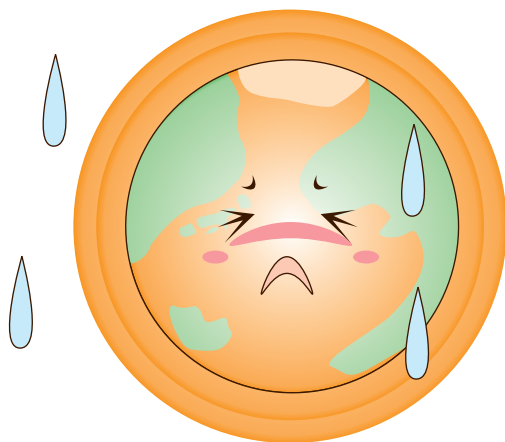
クリーニング店の省エネ対策



今なぜ、省エネ？！

地球温暖化を進めているのは、主にCO₂(二酸化炭素)です

エネルギーの大量消費はCO₂排出量を増大させ、結果として、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に閉じ込められてしまいます。それが地球温暖化現象です。温暖化を防止するには、省エネを実践することで、CO₂排出量を減らすことが必要です。



世界中でCO₂排出量削減に取り組んでいます



個々の店舗で取り組めば、国内全体にすると大きな効果が望めます



省エネによる効果—コスト削減＝利益の確保

店舗運営に要する電気・ガス・水道等の光熱費の無駄な消費エネルギーを減らせば、固定費と考えがちなコストを大幅に削減できます。

たとえば

【光熱費が売り上げの15%を占めているお店の場合】

●1ヶ月の売り上げを125万円とすると
年間売り上げ→1,500万円、年間光熱費は225万円

●年間光熱費の10%を削減したとすると

削減金額

$225万円 \times 10\% = 22.5万円$ の利益を確保

光熱費の売り上げに対する構成比が高いほど、利益改善効果も高くなります



年間22.5万円の利益を売り上げで考えると、1年間で750万円の売り上げを伸ばしたのと同じ効果になります
(利益率を3%で計算)



省エネへの取り組み—1.

省エネの第1歩は「見える化」から

1 現状の見える化

現状使用しているエネルギー量（光熱費など）を書き出すことによって、使用している現状の数値を把握しましょう。

2 目標、取り組み方法の見える化

省エネの目標値を数値で設定し、そのために取り組む内容・方法を書き出しましょう。

3 効果の見える化

省エネに取り組んでいる間は常にエネルギー使用量を数値として把握し、省エネの取り組み効果を検証しましょう。



現状の把握

目標値の設定

省エネにとりかかるのにもまずはこれまでの消費量を書き出すなどして現状を把握し、省エネの目標値を定める。

効果の検証

取り組み方法の明示

省エネの取り組みの前後を数値で把握し、グラフ化するなど「見える」形で比較・検証する。

照明の点灯箇所や点灯時間、営業準備のための熱機器の稼動開始時間などのルールを決める。



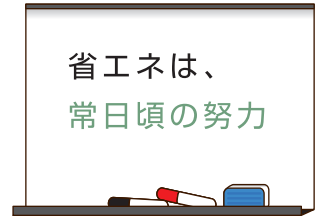
具体的な数値で表すことにより、営業者をはじめ従業員全員で理解を深めて、省エネに取り組もう！

省エネへの取り組み—2.

今すぐできる省エネ対策

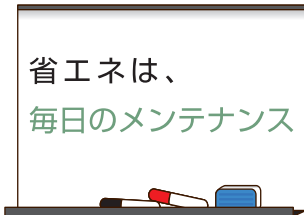
従業員への教育

省エネの意義、コストへの影響などについて常日頃から従業員に説明し、意識を高めましょう。



機器の清掃、点検・保守

清掃、点検・保守について書かれているマニュアル類を一括して保管しておき、清掃、点検・保守などの際にはすぐに活用できるようにして機器の状態を最善に維持しましょう。



照明

●定期的な清掃を！

年間に1～2回は行いましょう。

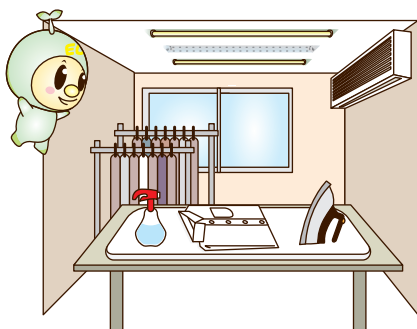
●照度を適正に！

40Wの蛍光灯を使用した場合、約3坪で3～4本が適量とされています。過度な場合は“間引き点灯”などを行いましょ



●休み時間は消灯を！

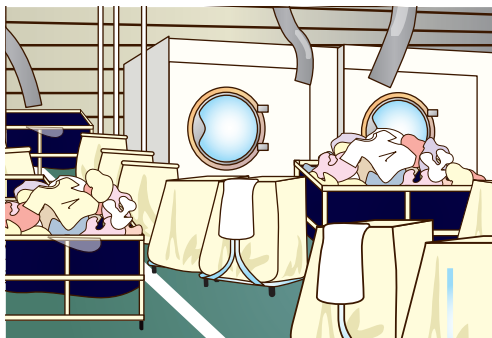
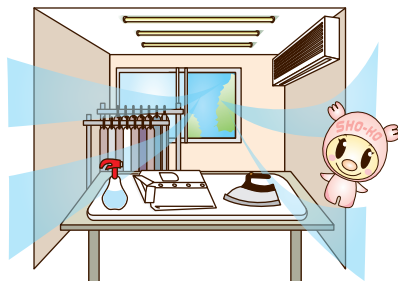
こまめな消灯、点灯の繰り返しが大きな節約を生みます。



昼休みに1時間一斉消灯を行うと、年間 **約14,000円節約**に。
季節ごとに日照時間に合わせた点灯・消灯も効果的！

空調

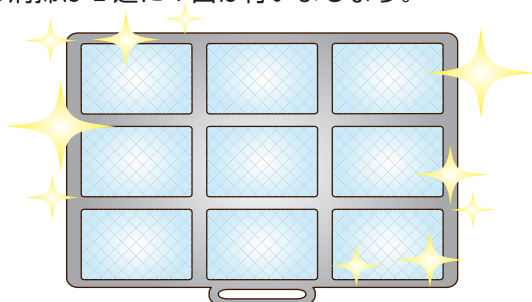
- 設定温度は夏場28℃、冬場20℃！
- 作業場は換気をよく！



高温機器が設置されている作業場は、夏季や中間期はよく換気して冷房負荷を減らしましょう。健康面からも効果大です。

●フィルターの清掃を！

フィルターの清掃は2週に1回は行いましょう。



ボイラー

●蒸気圧はできるだけ低く！

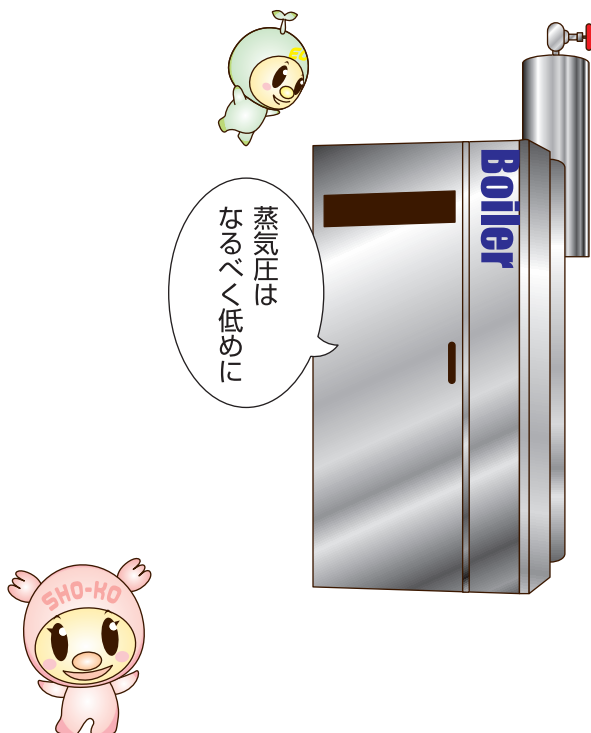
乾燥機やプレス機等の必要温度が保てる範囲で、蒸気圧をできるだけ低く設定しましょう！

●空気比は適正な管理を！

蒸気ボイラーの適正な空気比で年間3万円以上の節約に。

●蒸気の使用はまとめて、ボイラー運転時間の集約を！

1日8時間→7時間に集約すれば、年間約5万円の節約に。



コンプレッサー

●吐出圧はできるだけ低く！

吐出圧0.1Mpa低下で年間 **約9,000円の節約**に。

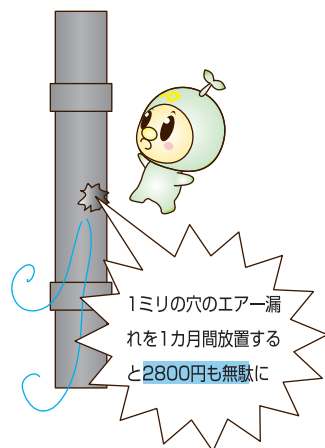
●配管のエアリー漏れに注意！

●吸気温度が高ならないように注意！

吸気温度が10℃上昇すると、消費電力は**約3%増加**しますので注意しましょう。

●吸気フィルターの清掃を！

コンプレッサーの吸気フィルターも定期的に清掃しましょう。

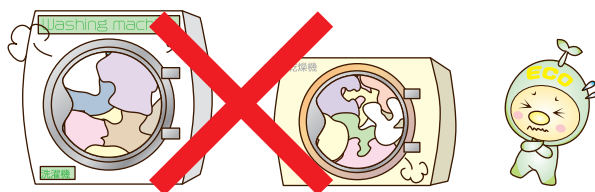


クリーニング機器

●各機器で適切な蒸気、圧縮空気を把握！

各クリーニング機器に必要な最低圧力を調査し、ボイラー・コンプレッサーの設定圧力に反映させましょう。配管を通ってくることで圧力は低下するので、その点も留意しましょう。

●洗濯物の投入量は適量で！

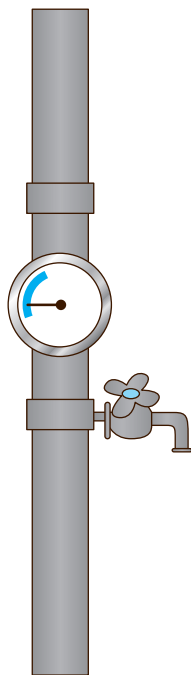


給水設備

●漏水がおきないように保守・点検を！

●流量・圧力の管理を！

毎月、メーターを自主的にチェックすることで、漏水などの異常にも速やかな対処が可能になります。



サービスカー



●“エコドライブ”を！

アイドリングストップや、タイヤの空気圧チェックを心掛けましょう。

●不要な荷物は積まずに走行！

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。運ぶ必要のない荷物は、車からおろしましょう。

●配送ルートの見直しを！

効率よく回れる配送計画を立てましょう。配送ルートを反時計回りにすると、左側走行の日本では左折が多くなって効率的です。

省エネへの取り組み—3.

設備投資で省エネを

照明

●高効率の器具[※]を！

旧型の蛍光灯を高効率型に変更すると約20%省エネになり、年間約27,000円の節約になります。

※高効率の照明器具

Hf型蛍光灯、LED、メタルハライド、電球型蛍光灯 など

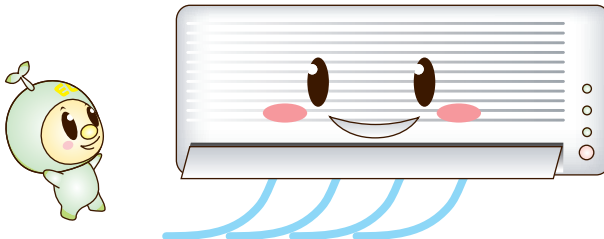


高効率器具
にすると年間
約27,000円
の節約

空調

●高効率の空調機器を！

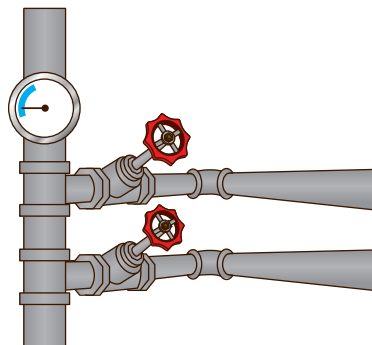
97年製のエアコンと10年後の07年製のエアコンを比較すると、消費電力は2/3程度。早めに更新しましょう。



クリーニング機器

●蒸気配管にバルブを！

無駄な熱や蒸気の損失を防止しましょう。
バルブのゆるみなどは、漏水状態とあまり変わりはありません。見逃しがちな無駄を排除しましょう。



ボイラー

●ドレン回収システムで燃料を削減！

年間 **10万円以上の節約** に。
クリーニングで使用される蒸気はほとんどが間接加熱に使用されるので、使用済み水分となるドレンは高温のうえ汚損ありません。回収することで燃料を削減しましょう。

●蒸気配管の保温を！

蒸気配管は“裸”の場合、多量の放熱損失するので注意！

コンプレッサー

●高効率の機器を！

インバータ駆動のコンプレッサーは、特に低負荷時に効率が上がり、省エネになります。

●設置場所は機器の近くに！

コンプレッサーで圧縮された空気は、コンプレッサーと使用機器の距離が離れるほど非効率となります。コンプレッサーとクリーニング機器はできるだけ近くに設置しましょう。



省エネへの取り組みー4.

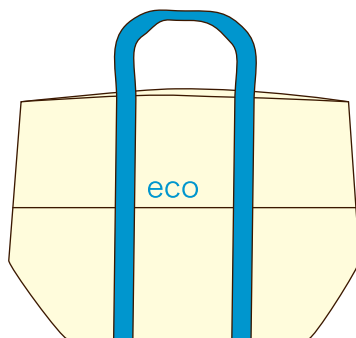
利用者との連携

ハンガーリサイクルを！

プラスチックハンガーを月100本回収すると、年間約7,000円節約に。



持ち帰り用ポリ袋削減のためのオリジナルエコバッグを！



衣類の修繕、サイズ直し等のサービス拡充！

衣類の修繕等を行うことにより衣類を長く利用してもらいましょう。



省エネのためのチェックリスト



あなたのお店では、どの程度、実践されているでしょうか？試してみてください。

エネルギーデータ管理

- Q.01 毎月、消費電力・燃料の使用量を管理している YES
- Q.02 定期的に、上水道・井水の使用量を管理している YES
- Q.03 電力・燃料・用水の使用量が異常値の場合にはすぐに原因を調査している YES

照明設備

- Q.04 作業場を適正な照度としている YES
- Q.05 離席など不必要な場合には照明を消している YES
- Q.06 明るい窓際は昼光を利用している YES
- Q.07 作業場は、天井照明を減らし手元の照明を利用している YES
- Q.08 定期的に照明器具の清掃をしている YES
- Q.09 始業前、終業後など不必要時には照明を消している YES
- Q.10 高効率の照明器具（Hf型蛍光灯、LED、メタルハライド、電球型蛍光灯など）を導入している YES

空調設備

- Q.11 空調の設定温度を夏は28℃、冬は20℃程度にしている YES
- Q.12 フィルターを定期的に清掃している YES
- Q.13 始業前、終業後など不必要時には運転を止めている YES
- Q.14 中間期には、空調せずに外気を利用している YES
- Q.15 高効率の空調機器を導入している YES

クリーニング機器

- Q.16 洗濯物の投入は適量にしている YES
- Q.17 クリーニング機器の休止時には、ボイラー・コンプレッサーを止めている YES
- Q.18 蒸気、圧縮空気は機器に適した最低限の圧力にしている YES
- Q.19 機器ごとに蒸気、エアーのバルブをつけ不使用時に遮断している YES

ボ イ ラ ー

- Q.20 蒸気圧をできるだけ低くしている YES
- Q.21 蒸気配管およびバルブの保温をしている YES
- Q.22 トラップから蒸気が漏れないように保守している YES
- Q.23 ドレンの回収をしている YES
- Q.24 定期的に保守点検をしている YES

コ ン プ レ ッ サ ー

- Q.25 吐出圧をできるだけ低くしている YES
- Q.26 配管、機器からエアリーが漏れないように保守している YES
- Q.27 吸気温度が高くないようにしている YES
- Q.28 吸気フィルターを定期的に清掃している YES

水道、井水などの給水設備

- Q.29 漏水が起きないよう点検をしている YES
- Q.30 流量、圧力の管理をしている YES

地 域 連 携 な ど

- Q.31 ハンガーリサイクル(リユース)、持ち帰り袋の削減などをしている YES

YESの合計

YESが25個以上

がんばってます

YESが20～24個

あと一息

YESが14～19個

少し足りない

YESが13個以下

もっと省エネ意識を



省エネルギー設備導入に対して税制優遇、
補助金等が受けられます。



■エネルギー需給構造改革投資促進税制

<http://www.eccj.or.jp/enekaku/>

■住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei/index.html

■金融上の助成措置

<http://www.eccj.or.jp/promote/O6/index.html>

■(財)省エネルギーセンター工場の省エネルギー診断サービス

<http://www.eccj.or.jp/audit/fct3/>

※ 都道府県単位でも様々な制度があります。問い合わせてみましょう！

設備更新などで資金の借入れが必要な場合は、
低利の融資が受けられます。

■日本政策金融公庫・生活衛生貸付

<http://www.k.jfc.go.jp/seikatu/index.html>

